



聴覚障害者の豊かな暮らしを考える 山城研修会(暮らし研修会) in 八幡 7/21(日)

テーマ
「山城ネットワークのあゆみと
これから目指すもの」

「速報」は大きな行事や出来事を
皆で共有する為に発行します。

発行：令和6年8月
山城ネット(情宣チーム)



山城ネットワークの歴史を語る

★「さんさん山城、山城地域活動支援センターの取り組みから」(山城ネット委員長/岩井武志)

1999年に発足した「京都聴覚言語障害者の豊かな暮らしを築くネットワーク山城委員会(以下:山城ネット)」は、2003年には、城陽市の寺田の民家を事務所にして活動を開始しました。

山城ネットは 200～300 人が集まる「聴覚障害者の暮らしを考える山城研修会」を毎年開き、要望活動に繋げていきました。

その中から「山城お試しデイサービス」が始まり、2007年の耳の日記念集会で広域の地域活動支援センターを作ることを目標とし、2008年12月に京田辺市にある京都府の建物を法人が借り受け「さんさん山城」(現在の「ここリンク山城」)がスタートしました。

多様な活動ができる広い部屋と畑があり、送迎付きで手芸・園芸・料理などの活動が始まりました。


その後、さんさん山城は就労継続支援B型の施設となり、地域活動支援センターは城陽市にできた京都府の情報提供施設に場所を移し「陽(ひなた)」として、また就労継続支援B型「みなみかぜ」も運営されています。

このように私たちの運動と事業には深い関係があります。事業(社会資源)を作るには私たちの力が必要でした。今後も私たちの暮らしを豊かにするためには何が必要かを考えながら、運動を続けていくことが大切です。

★「支えあう心でつながる八幡市手話言語コミュニケーション条例～成立後の活動」(八幡ネット/佐藤)

●2021年3月30日、議会で「支えあう心でつながる八幡市手話言語コミュニケーション条例」が成立しました。特徴は、議員立法であること、難聴者協会と共同していることです。

●条例成立後の活動

1. 図書館での絵本の読み聞かせ / 毎月第4日曜日 午後2時～2時30分 於: 男山図書館
2. コミュニケーションボードの設置 / 市役所市民課・福祉課
新庁舎の会議室にはループと受信機10個が用意されている。
3. 市のホームページで手話普及の  **YouTube** 動画の公開。
4. 条例普及のガイドブック作成 2024年4月から配布。
200部作製、八幡高校の生徒がイラストを担当。

★今後の活動

1. 救急用のコミュニケーションボードの作成
2. 福祉体験授業の窓口一元化
3. 条例普及ガイドブックの配布
4. 条例施策推進部会の設置
5. 駅前の観光案内所に簡単な手話コミュニケーションボードを設置



各地域ネットからの報告

(八幡は前述の通り)

★綴喜

京田辺では令和1年から条例学習会を続けています。

今後は条例制定委員会の立上げに向けて頑張ります。皆さんの支援をお願いします。

★城久

城陽“手話言語条例”は成立しています。

京都府聴言センター設立に向けては何度も交渉に行きました。

～要望書について～

1月にまとめ、3月に回答をもらい、

5月に市と懇談会を開きました。



交渉してそれは認められました
要望には、ちょっとわからないところもありました。
色々な交渉をしてきました。
5年前にコロナが始まったので、
要望とかができなくなりました。

終わります。
司会/城久ネット山本さんありがとうございました。
続きまして、相楽ネットから活動報告をよろしくお願ひします。
中筋/相楽ネットです。
相楽ネットは、



★相楽

毎月会議を開いています。3月に5行政との要望書の回答懇談会を開きました。

相楽会館の建て替えについて、広域事務組合と懇談を重ねています。

「たんぼぼ」の会も毎月1回活動しています。

昨年10月から2ヶ月に1回、条例検討委員会を開催し、福祉・行政・教育などの分野別の学習を重ねて、相楽に合った条例の理想の姿を話し合っています。

★宇治

フレイルを防ぐための体操・講座を計画しています。

～要望書について～

2月に提出、学習会を行い、市から回答ももらいました。



★質疑応答

質問 ^{ひなた}「陽」について教えてほしい。

答え 「陽」「みなみかぜ」は障害者手帳があれば、利用可能です。年齢制限はありません。高齢者の介護保険とは別で、通常の介護サービスにはないコミュニケーション支援を提供しています。利用には手続きが必要です。

★その他

次回の暮らし研修会のテーマは「高齢者の暮らし」。各地域で考えてきてほしい。

- ・相楽地域などは府聴言センターから遠い。なので、利用が難しい人もいます。
- ・府聴言センターにはお風呂がない。
- ・南部にどのような施設があればいいのか？

★総括

以前は、要望・目標「京都府聴言センターを作ろう！」ありました。

この運動が始まってから20年が経つ。みんな高齢化しています。

今の課題は何か？

整理して、要望を出していきたい。

具体的な目標が見えづらくなっていますが、暮らし研修会のテーマ

9月14日：高齢者の暮らし

11月4日：災害対策

各地域で必要な支援は何かを検討し、積み重ねていきましょう。